

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)IC照葉テラス フォレストコート1番館 新築工事	階数	地上14F
建設地	福岡市東区香椎照葉2丁目24番地	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	240 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,780 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年7月31日
敷地面積	6,240 m ²	作成者	牧 敦司
建築面積	2,856 m ²	確認日	2015年7月31日
延床面積	12,473 m ²	確認者	牧 敦司



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 93% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 93%

④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>独自の環境配慮指針を有するアイランドシティ地区において、デザインガイドラインをはじめ様々な環境に関する配慮事項を遵守し、計画を進めている。具体的には40パーセントに近い緑化率の緑豊かな環境で、ゆとりのある計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>これまでの一連の先行住宅開発に対し、「アジア・グリーン健康住宅区モデル賞」をはじめ、多数の景観、環境に関する受賞歴がある。</p> <p>また、TCAなど、住民参加の地域環境に関する維持管理の関する取り組みも進んでいる。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>開口部には複層ガラス、内外壁は住宅性能評価の断熱性能等級4水準の外皮性能を保ち、高水準の断熱性能としている。また、内装材は全て4☆の健康素材を採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>福祉のまちづくり条例の遵守、耐震性、高耐久性などの基本性能を確保し、モデルルームなどでその内容を確認し、機能的で使いやすい性能を保っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>省エネルギー計算書で、断熱等級4を確認している。LED照明や、エネルギー消費量の少ない設備機器の導入を行っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>再生資材、ノンフロン材、内装素材での4☆の採用など、資源・マテリアルの採用においても配慮している。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>計画戸数の130パーセントを超える駐車台数を、十分に外周を緑化した平置き駐車スペースで確保したうえで、緑化率30パーセント以上の緑とゆとりのある外部環境とし、敷地外周の緑道公園空間と一体的な空間が生まれるよう計画している。また、2メートル以上の壁面後退した外周の一部に外周道路の歩道と一体となった休憩スペースを確保するなど、子育て世代の多い地域への配慮も行っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される